

新たな学群・学類のコンセプト

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
<p>人文・文化学群</p>	<p>人文・文化学群は、人文系と文化系の学問の豊かな知見と確かな成果を基に、更にはグローバル化する世界も視野に入れながら、教育内容の質的・量的な充実を目指します。本学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類という、各々独自の特色を有する3つの学類から構成され、多様で質の高い教育の実現と、優れたコミュニケーション能力を持ち、先見性・創造性・独創性に富み、国際的にも活躍できる、卓越した人材の育成を図ります。</p>	<p>人文学類</p>	<p>人文学類は、「人間とは何か」という根源的な問いに対して自ら主体的に考え、その考察を通して諸問題を解決するための展望を明らかにし、それを的確に表現することができる、真に教養ある人間を育成することを目標にしています。哲学、史学、考古学・民俗学、言語学の4つの主専攻が設置されており、人文科学の基礎となる専門的能力を培うことを主眼としつつも、幅広い学問的視野を獲得できるように、広さと深さの両方に配慮した体系的なカリキュラムが用意されています。</p>
		<p>比較文化学類</p>	<p>比較文化学類は、現代の諸問題を見据え、様々な学問領域を有機的に統合し、学際的・比較論的な文化研究を推進することによって、広い視野と独自の視点を持ち、国際舞台で活躍できる人材を養成することを目標にしています。文学、地域、思想の3つの主専攻が設置されており、複数の外国語の習得を基礎に、社会と文化の過去・現在・未来に対して旺盛な関心、鋭敏な問題意識、柔軟な発想力を育成するための体系的なカリキュラムが用意されています。</p>
		<p>日本語・日本文化学類</p>	<p>日本語・日本文化学類は、日本語及び日本の文化を客観的かつ相対的に捉え、それらを諸外国の人々に的確に発信することによって豊かに国際交流を進め、多文化共生社会を担う専門的知識と技術に裏打ちされた人材を養成することを目標にしています。この目標を達成するために、本学類では日本語及び文化(日本文化・異文化理解)を体系的に学び、発信するカリキュラムを用意し、国際交流を積極的に進める各種のプログラムを展開しています。</p>

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
社会・国際学群	<p>グローバル化と情報化の急速な進展は、人間社会の営みを流動的で複雑なものとし、一つの地域的紛争が世界の人々を巻き込み、一つの国内政策が国際的に影響を及ぼす、といった新しい現象を生み出しています。社会・国際学群は、こうした変化する現代社会の諸現象を広い視野から分析して問題のありかたを的確に把握し、先見性、独自性に富む解決策を提示できる力を養い、社会の持続的発展を支える人材を育成することを目標としています。そのため、社会科学の基礎的、普遍的な考え方や分析手法を身に付ける一方、新しい学問の展開に対応した発展的、応用的な分野をより深く学び、専門性の追究能力とともに柔軟で自律的な思考力を涵養します。</p>	社会学類	<p>社会学、法学、政治学、経済学の四本柱を中心に、社会科学の総合的な知識や方法論、専門的な分析能力を身につけ、人間社会の基本的なあり方や現代の諸問題を的確に把握し、共存・共生の可能性を求めて独創的な力を発揮できる人材を育成します。</p>
		国際総合学類	<p>国際社会で生じている諸問題に対し、政治、経済、文化、情報等を中心に、学際的見地から、深い洞察力と分析能力を身につけ、国際的に活躍できる人材を育成します。また、グローバル化の時代に必要となる英語を中心とするコミュニケーション能力の向上や情報リテラシーの修得を目指します。</p>

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
人間学群	人間、社会、自然に関する幅広い興味と関心を基盤としつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能を身につけ、これらの態度・知識・技能を活用し実際的な問題を主体的・創造的に解決する能力を育成します。	教育学類	<p>学校、社会、家庭という場を通じて行われる人間の生涯にわたる学習や教育について、歴史的視点や異文化間比較という視点、あるいは教育実践という視点にいたるまで、また、ローカルレベルからグローバルレベルまでを視野に入れ、社会・文化にかかわる幅広い人間形成の営みについて総合的に学ぶことで、多様化する現実の教育諸問題や現代社会が求める広範な教育的課題に様々な角度から取り組むことのできる高度な専門的知識と教育実践力・指導力を備えた人材の育成を目指します。</p>
		心理学類	<p>「心」を科学的に解明し人間理解を深めることを目指し、乳幼児から高齢者まで、そして個人行動から集団行動まで、「心」の体験を実験や調査、あるいは事例といった方法を用いて探求して、今日的な社会の需要に応える有為な人材を養成します。</p>
		障害科学類	<p>乳幼児から高齢者までの、身体の機能（視覚・聴覚・運動・健康など）や心の機能（発達・言語・認知・精神など）の障害及び障害をめぐる環境や社会・文化に関連する課題についての基礎的な知識と支援の方法を、教育・心理・福祉・医療などの多領域から総合的に学ぶことで、障害に留まることなく人間を深く理解し探求する心を持ち、すべての人が共に生きる社会に貢献できる実践力や研究能力を有する人材の育成を目指します。</p>

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
生命環境学群	生命環境学群は、科学的にも社会的にも著しい進展を見せつつある「生命と環境」を共通キーワードとする3つの学類、すなわち「生物学類」「生物資源学類」「地球学類」から構成されています。本学群のコンセプトは、人間を含む多様な生物の生命現象、それを支える地球環境、さらには生物資源の保全や持続的活用に関する総合的探究を通して、豊かな人間性と問題発見・問題解決能力を養い、わが国の「生命と環境」分野の中心的な担い手となる人材、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材を育成することです。	生物学類	生物世界のシステムと生体機能のメカニズムを学ぶことにより生命現象の本質を理解し、卒業研究や進学先の大学院における研究活動を通して生物学研究の方法と意味を修得した、生物学の幅広い学問分野で活躍する研究者、教育者、企業人、先端科学と社会の接点となる人材を養成します。
		生物資源学類	人類の生存、安全で豊かな生活の基本である食料の持続的確保、生物資源の活用、及びそれを支える環境の実現、社会経済条件に関する総合的学習を通して、わが国及び世界の「食料・環境・生物資源の開発と利用」を、地域的及び地球的視野をもって担っていく人材、研究者を育成します。
		地球学類	地球学は、地球の大気圏・水圏・岩石圏で生起する諸現象、及びそれらと人間活動や生物との関わり合いを、地球を一つのシステムととらえて追求する学問です。46億年にわたる「地球進化」から将来の「地球環境」まで、総合的に地球を理解し、自然と人間の共存する社会の実現に貢献できる人材を育成します。

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
理工学群	理工学群は、理学と工学の主幹となる学問分野とともに学際的な分野も取り入れ、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類の6学類を置いています。理学と工学の領域において、持続可能な社会に必要とされる幅広い教養、論理的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る確かな専門性を身に付けさせる教育を目指します。また、知的創造、問題発見・解決の能力を有する広い視野と豊かな人間性をもつ人材の育成を指向します。	数学類	数学類では純粋数学から応用数学まで現代数学の基礎について幅広い知識を習得することによって高度な論理性や数学的思考能力を身につけた、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を育成することを教育の目標としています。そのために講義、演習、少人数セミナー等、教員と学問的に触れ合い、学ぶ喜びが味わえる指導・教育を行います。
		物理学類	物理学は、極微な素粒子の世界から広大な宇宙に至る自然界の法則を明らかにするとともに、現代そして未来の科学技術の基礎を築く学問です。物理学類では、現代物理学をしっかりと学び、基礎から考える力や柔軟な思考力を身につけ、将来物理学の研究を目指す人や、社会の様々な分野で活躍できる人材の育成を行います。
		化学類	化学は、物質を分子・原子・電子レベルで研究し、自然界における普遍的な法則を追求するとともに興味ある新規物質や未知現象を探求する学問です。機能性物質の創製と材料開発、環境やエネルギー問題の解決、生命現象の分子レベルでの解明など、科学技術の基礎として重要です。化学類では、基礎知識の重視、柔軟な思考力の養成、国際的に活躍できる人材の育成などを念頭において、学生の指導・教育を行います。
		応用理工学類	応用理工学類は、自然科学を材料・素子、計測原理などに応用し、その成果を現在さらには未来社会の技術基盤として送り出す技術者・研究者を養成します。自然科学を基礎として十分に学び、社会に対して広い視野を持ち、解決すべき問題の本質を理解して、新しい構想を創出することができる学生を教育します。
		工学システム学類	工学システム学類は、学生個人の自己の存在基盤の確立を助け、これからの社会のリーダーとして、科学技術の成果としての人々の生活を支える人工システムを、広い視野に立って開発・設計・製作・管理・運用してゆくことのできる、総合的な判断力を支える広い教養と高いポテンシャルを持つ技術者を養成することを目指しています。
社会工学類	社会工学は、経済、経営、および都市・地域等に関する社会問題を理工学的アプローチによって解明し、政策的処方箋を探求する学問です。社会工学類では、「複雑に絡み合う社会問題を多様な学問分野から学際的に分析し、科学的・工学的・政策的に解決するための社会システムをデザインし運用できる人材の育成」を教育目標として掲げています。主専攻分野として、社会経済システム、経営工学および都市計画があり、社会システムを3つの側面から学びます。		

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
情報学群	<p>人間は、知識や情報を記録し、共有し、利用する様々な技術とそれに基づく文化的・社会的システムによって現代社会を築きあげました。コンピュータやネットワークなどの情報基盤を発達させ、人間が持つ知識と情報を、効率よくかつ効果的に利用できる環境をさらに進化させることは、我々が将来に向けて持続的・安定的に発展していくために必要不可欠です。</p> <p>こうした社会的要請に応えるために、情報学群には情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の3学類をおき、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とともに、それによって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に学び、社会や企業、大学や研究機関などにおいて将来をリードすることのできる人材を育成します。</p>	情報科学類	<p>情報科学類は、社会の原動力である「情報」を生成、伝達、変換、保持するための原理と技術を学ぶ場です。単に情報処理技術に関する知識を学ぶだけでなく、基本的な原理を豊富な演習・実験を通して理解し、しっかりした基礎知識に裏打ちされた実践的応用力を身につけた技術者・研究者を育成します。</p>
		情報メディア創成学類	<p>情報メディア創成学類は、多様なコンテンツの創成に関わる科学と技術を総合的に探求し学ぶ場です。人・文化・社会に対する広い視野のもとに、情報メディアやネットワークの最新技術を基礎から応用にわたって深く理解し、多様なコンテンツによって支えられるネットワーク情報社会をリードすることのできる人材を育成します。</p>
		知識情報・図書館学類	<p>知識情報・図書館学類では、社会における知識・情報の蓄積・流通の成り立ちやそのシステムのあり方を、人間や文化、社会、情報技術などの側面から探求します。インターネットから図書館にいたる知識共有の仕組みの企画・運営やそれを支える情報システムについての教育を行い、共有された知識を企業活動や先端的研究活動、市民活動など、人間の知的営みに活用できる人材を育成します。</p>

学群名	コンセプト	学類名	コンセプト
医学群	<p>社会が要請する新しい医療・医学研究に対応するために、卒業の時点で基本的な臨床能力を備えかつ良好なコミュニケーションを通して全人的医療を行える良医の育成、人権の尊重と科学性を基盤とした専門的看護実践学の修得により、広く人類の幸福に貢献し得る看護学関連の人材の育成、医療の向上と発展に貢献する医療科学領域の研究者および高度専門医療職を志向する人材の育成を各学類教育の目標として、お互いが機能的に融合しながら、医療のユニフィケーションの実現を目指します。</p>	医学類	<p>卒業の時点で基本的な臨床能力を備えかつ良好なコミュニケーションを通して、全人的医療を行える良医の育成を目標とします。将来すぐれた医師(一般臨床医・専門医)、医学研究者、行政官として、医療・保健・福祉の様々な分野で、わが国のみならず世界の人々に貢献する人材を養成します。</p>
		看護学類	<p>人権の尊重と科学性を基盤とした専門的看護実践学の修得により、人々の健康生活の向上や改善を図り、広く人類の幸福に貢献しうる人材を育成します。卒業時に、看護師、保健師、助産師あるいは養護教諭一種の資格を得て、医療機関、行政と教育・研究機関等の様々な領域において活躍し、将来、国内外でリーダーシップを発揮しうる人材を育成します。</p>
		医療科学類	<p>医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な、医療科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材、また診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践に関わって高度専門医療を担う人材を育成します。</p>
体育専門学群	<p>体育・スポーツ・健康に関する最新の科学的研究成果を生かしながら、優れた運動技能と幅広い運動経験を持ち、かつ保健体育に関する総合的な知識を備えた、指導力と活力に富む人間性豊かな指導者の育成を目指します。</p>	-	-
芸術専門学群	<p>芸術専門学群は、総合大学の中に位置づけられた芸術教育の場としての特色を生かし、豊かな感性と知性に支えられた発想力と、柔軟で視野の広い思考力を育てながら、高い創造的能力を備えた美術・デザインの専門家を養成することを目指します。</p>	-	-